平成27年度公益社団法人米沢有為会表彰受賞者一覧

【教育功労者】

氏名 (役職等)	事績
おがた よしかず 小形 義和 (米沢市文化財保護 審議会委員・よね ざわ昆虫館運営委 員長)	公立学校教員在職中から視聴覚教育の重要性を認識され、平成8年よりこれまで10本のビデオ教材を制作し、米沢市内小中学校等に自主配布。理科の授業や昆虫館等で活用されている。この間、山形県や全国の視聴覚教材コンクールで数々の賞を受賞している。また、市内各コミュニティセンター主催の講師として親子のトンボ自然観察活動や、教員を対象とした自然観察活動などの自主活動も行っている。平成24年度には、これまでの視聴覚教育の功績を評価され、日本視聴覚教育協会より「視聴覚教育功労者」として表彰されている。

【産業功労者】

氏名(役職等)	事績
ほんだ さだお 本田 貞夫 (米沢山岳遭難対策 委員会市民協力隊 隊長)	30年以上に亘り環境省自然公園指導員を務められ、登山客や地元高校生に対する登山指導を行い、登山者のマナーや安全な登山知識の普及啓発向上、自然保護活動に尽力された。また、山岳遭難等の有事の際は、遭難者の捜索、救助活動にも率先して取り組まれ、アドバイザーとしても適切な指導を行っている。 そして、米沢山の会の理事長及び会長の要職にも就かれ、平成16年からは名誉会長として本市の山岳観光の発展に多大な功績を残されている。 平成26年5月には自然公園功労者環境大臣表彰を受けている。。

【特別顕彰】

氏名 (所属等)	事 績
こばやし みずき 小林 瑞季 (川西町立川西中学 校3年)	小学校時代に川西ホッケー少年団に所属。技能と体力の向上を図り、川西中学校ホッケー部では主将としてチームをまとめ牽引し東北大会等で活躍された。 そのスピードと闘志溢れる粘り強いプレーが認められ、アンダー16全日本ユースチーム18名のメンバーに選抜され、オーストラリアで開催されたFHEカップに出場。ゴールを決めるなど果敢なプレーで全日本チームの優勝に貢献された。現在は高校に進学し、世界大会やオリンピックを目指してトレーニングに励んでいる将来性豊かなプレイヤーである。

※所属、学年は平成26年度現在のものです。